

オンライン油分測定装置

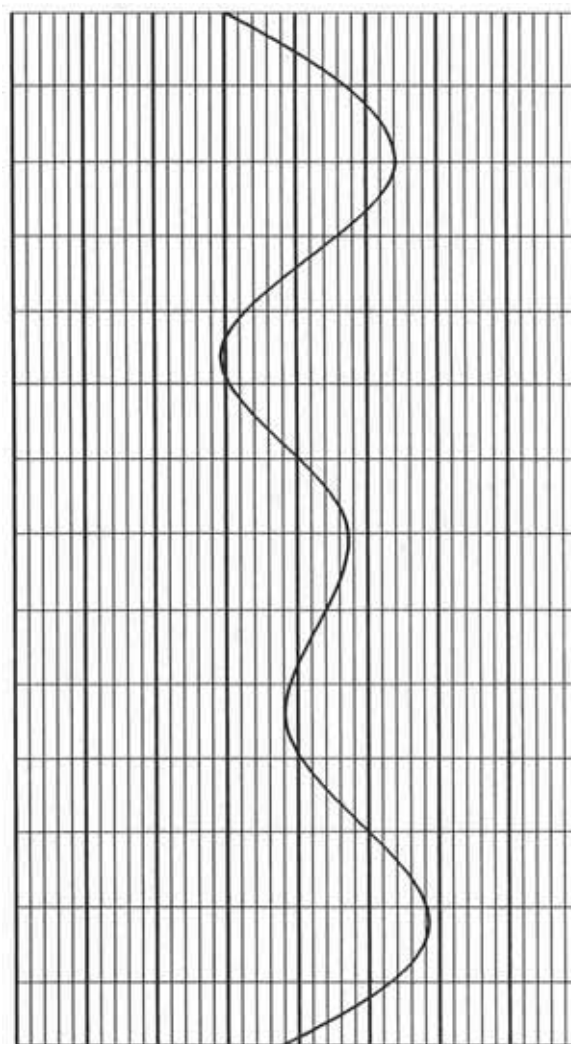
Section.34

Cat.No.OE-3

- = 用途 =** 本装置は、走行中のポリエステル系の付着油分斑測定を行うものです。油分付着量の均一性の測定は、後工程に及ぼす影響を防ぐだけでなく、オイリングロールやオイリングノズルの老化などを察知し、未然にトラブルを防止することができます。
- = 特徴 =** 応答性の良い超絶縁計の採用により走行中の糸の付着油分測定が可能となりました。専用センサーが、高精度の検知精度を生み出し、また高速系に対し摩擦係数を考慮し、放熱効果が良く、摩擦係数の非常に少ない専用センサーを採用しております。
- = 仕様 =**
- 型式 OE-3
- 測定範囲
 50V : $2.5 \times 10^5 \sim 1 \times 10^{12}$
 100V : $5 \times 10^5 \sim 2 \times 10^{12}$
 250V : $1.25 \times 10^6 \sim 5 \times 10^{12}$
 500V : $2.5 \times 10^6 \sim 5 \times 10^{13}$
 1000V : $5 \times 10^6 \sim 2 \times 10^{13}$
- 構成
 測定部(超絶縁計 SM-8215)・・・1式
 センサーホルダー・・・・・・・・・・1組
 センサーピン・・・・・・・・・・2本
 センサー用マグネットスタンド・・・1組
 センサーノイズレスケーブル・・・・3m
 記録計(EPR-3511)・・・・・・・・・・1式
- 測定原理
 センサーの2本の特殊センサーピンの間を走行糸が通過することにより、油剤の付着量の違いを電気的な抵抗値で捕らえ、それをグラフ化し、油剤の付着量の斑変化をみる。又、実際の付着量を%で求める場合には、まずオイリング前の糸を測定し、次に付着量の判っている標準糸を測定し、その比較により測定値より、油剤の付着量(%)を求める。
- 電源
 外形寸法
 重量
 単相 AC220V 50/60Hz
 約 430W X 330D X 680Hmm
 約 17.5kg

測定例
(油剤付着量による抵抗値変化)

下記グラフは、イメージ図です。



* 改良の為、仕様・概観は予告なく変更する場合があります。